

安心な水 × おいしい水

“ 県営水道は
日々の検査で
安全・安心な水をお届けします。 ”



Q この大きなタンクが、何に使われるかわかりますか？
(答えは、下の「カッピーのへえ、そうなんだ!」で)

浄 水場で活躍しているのは、活性炭だけではありません。他にも、凝集剤や塩素という薬品があり、とても大切な役割を果たしています。

凝集剤は、水の濁りのもとである小さな粒どうしをくっつけて大きな塊にします。これを沈めて取り除くことにより水をきれいにしていきます。

塩素には、水に含まれている細菌を消毒する効果はもちろんのこと、色



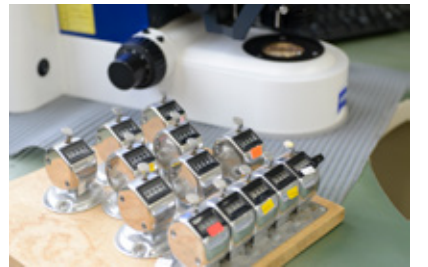
▲ かび臭分析装置

をつける鉄等を除去する働きがあります。しかし、多く入れるとカルキ臭が強くなり、水道水のおいしさを損ねてしまいます。

そこで、安全性を十分に保ちつつ、おいしい水道水をお届けできるように、注入する量を適正に調整しています。

日々のチェックが「おいしい水」の原点です

原水や浄水場内で採水した水を、職員が日々検査しています。原水中のプランクトンは数百種類に及びますが、検査する職員はそれらの種類と数を判別して浄水処理への影響を見極め、活性炭や凝集剤等の注入量を決める重要な情報のひとつとしています。少雨が続いたかと思えば、台風が続けて上陸したりと刻々と原水の水



▲ プランクトンの種類に応じて複数のカウンターを使い分けます。

質が変わるため、そのわずかな変化を見逃さないように、1日に何度も検査を行うこともあります。

顕微鏡でプランクトンの種類と数を確認する、この日々の積み重ねが安全で安心な「おいしい水」を支えています。

水道水のクオリティを守るため、県営水道はこれからも自然の水と向きあい続けます。



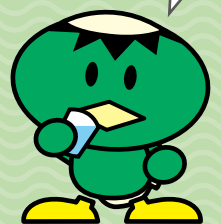
ご家庭の冷蔵庫の脱臭剤なら、約13万個分※

上の写真の大きなタンクは相模湖から浄水場に送られてきた原水に粉末活性炭を注入する設備で、平成22年に完成しました。建物の高さは4階建てのオフィスビルや奈良の大仏よりも大きい16メートルもあり、タンクは2つで25トンの粉末活性炭を貯蔵することができます。

相模湖でアオコによるかび臭や大雨の影響による泥の臭い等が発生した時には迅速に対応できるよういつでも備えています。



粉末活性炭
原水中の臭いをとりのぞく



より安全でおいしい水道水にするために日々、水質向上に努めています!

※家庭用の冷蔵庫脱臭剤は200gとして計算。